



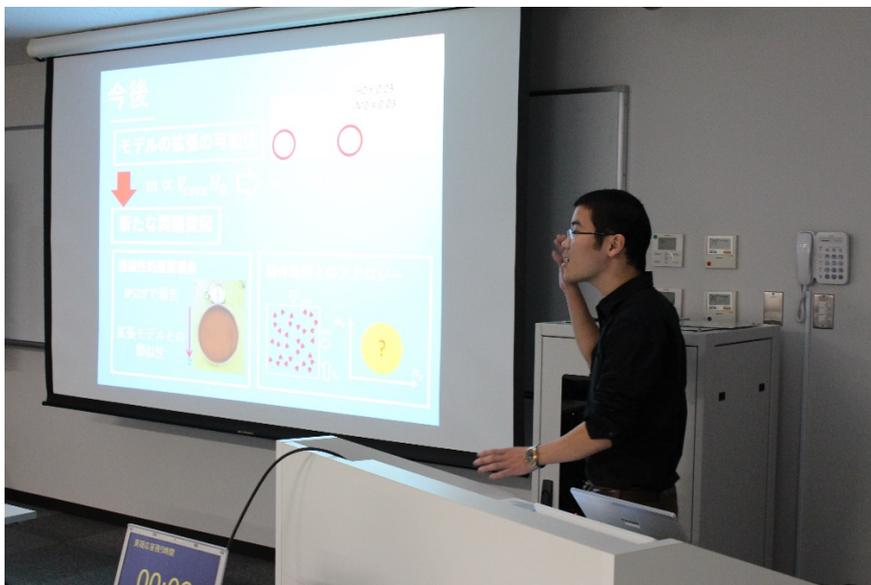
『既知現象に隠れた未知』

理学研究科・博士前期課程 1年 人見 将

私は理学研究科物理学専攻から基礎工学研究科機能創成専攻へ行きました。普段の研究対象(固体電子の量子力学的性質)とは大きく異なる現象(磁気的性質を持つ流体の古典的力学特性)をテーマとし研究を行いました。研究の中では工学的に広く応用される物質の性質に対し基礎理学的な観点からアプローチすることを試みました。

物質科学には基礎と応用の両側面があり、各々”Why”(なぜ現象が起きるのか)と”How”(どのように制御するのか)という異なる見方を持っています。しかし、例えば応用面で広く知られる既知現象に”Whyの眼”を向けることで新たな未知を紐解くことができるのではないかと強く感じました。

研究室ローテーション発表会で発表する人見さん



2019.12月発行
News Letter vol.22 掲載